

NakaNishi ESD通信



翔舞塾SDGs学習会 中野市政策研究所 高校生研究員

ESDとは？

Education for Sustainable Development / 持続可能な開発のための教育

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

今こそ伝えたい

中西での学びはこう広がっていく

9月28日(土)、33期卒業生の芋川史貴くん(長野大学・環境ツーリズム学部)、小林憂生斗くん(県立長野大学・グローバルマネジメント学部)をプレゼンターに招いて、SDGs学習会を行いました。当日は、北信地域の高校の先生方にも参観して頂きました。90分間の学習会の前半は、先輩2人からのプレゼンテーション。中西での3年間を振り返りながら、現在、大学生活で取り組んでいることを紹介してもらいました。「中野市の地域活性化に向けて沢山の人がつながりを作りたい」との思いから、大学や地域の枠を超えて関心のある活動にとにかく顔を出していると語る芋川くん。また、小林くんは高3時の地方創生アイデアコンテストへの応募作品(RESASのやつです)をきっかけに考え始めた中野市の廃校活用や、GM学部の皆さんと運営している「ウリコメ信州」、多様な人が気軽に交流できる「第三の家(縁側)」作りについて語ってくれました。

学習会の後半では、参加した皆さんそれぞれが、「モチベーションマップ」を作りました。一般的には大学生が就職活動中に、自己分析で活用するものですが、今回のねらいは、「これまでの自分」と「これからの自分」を見つめるためです。1年生から3年生までが集まったこともあり、緊張した表情でのスタートではありましたが、「キャリアチャレンジプログラムってものがあったね」「この時期は部活も勉強もあって忙しい」等々、3年生からも1・2年生に向けてアドバイスをする様子が見られました。

学習会のまとめは、参加メンバーが、これからチャレンジしたいことや今日の学習会を通して得られた自分自身の変化についての発表。「図書館の新刊をこの時期にこんなふうで紹介してみたい」という生徒会に関わることで、ESD活動に関わることで、また大学生たちからはこの冬まで進めるプロジェクトの予告などが語られました。

勉強も大事。部活も大事。でも高校生活それだけで本当に良いのか？学校の外に飛び出して、もっとももっと自分の関心を広げたり深めたりするような「3本目の柱」が必要なのではないか？
学習会でテーマになったのは、そんな「自分のわくわくに誠実であること」でした。



中野市
政策研究所
Nakanishi City Policy Institute



中野市政策研究所・高校生研究員をご存じですか？

中野市役所には、副市長が所長を務め、市の政策を総合的に研究する研究所があります。本年度より11名の中西生が研究員として、この活動をお手伝いしています！先日各HRで行われた『中野市に対する意識アンケート』もその一環。今後もESD通信等も活用しながら、活動をレポートします！

福島スタディーツアー説明会の開催

今年度末3月18日(水)-20日(金)実施の2泊3日スタディーツアーの募集説明会を、以下のとおり学年別で実施します。

【2年生】10月9日(水)12:10~12:40@第二理講
【1年生】10月11日(金)12:10~12:40@第二理講

説明会には
お弁当持参で!!